

「千葉都心ウォーカブル推進社会実験」を実施します！
～「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指して～

千葉市では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成による都市の再生を図るため、これまでの「自動車中心」から「ひと中心」のまちづくりに転換し、多様な価値観・多様なライフスタイルにおける道路・公園など公共空間の利活用の可能性を検討することの一環として、「千葉都心ウォーカブル推進社会実験」を実施しますので、お知らせします。

1 目的

道路、公園の公共空間を周辺の市街地と一体的かつ、日常的に多様な用途、使い方として開放することで、まちなかに多様な人が集い、交流し、滞在する新たな価値の創造や地域課題の解決の可能性を検証します。

なお、本社会実験は、3密を回避した飲食店のテラス営業、感染リスクを抑えた屋外空間での過ごし方など、ポストコロナの新しい日常への対応も見据えた取り組みです。

2 社会実験の名称

CHIBA NOKI-NYOKI PROJECT

3 開始時期（期間は約1年間）

- 千葉駅西口駅前
令和2年8月31日（月）から
- 千葉公園通り
令和2年9月下旬から



ロゴマーク

4 実施場所・時間（詳細は別紙のとおり）

- 千葉駅西口駅前（ウェストリオ2前歩道、歩行者デッキ、駅前広場、新千葉公園）
9：00～24：00
 - 千葉公園通り（千葉公園通り、公園前歩道、千葉公園南門付近）
11：00～14：00、17：00～21：00（1日2回）
- ※開始時期や実施時間は、店舗の営業状況や天候等によって変動します。

5 内容

道路、公園及び隣接する民地の一体的な活用（飲食店のテラス席等）

※参加店舗は以下の市ホームページに掲載します。

【URL】<https://www.city.chiba.jp/toshi/somu/walkable.html>

6 社会実験の検証

「居心地がよく歩きたくなるまちなか」の形成を目指して、滞在性向上などについて検証を実施します。

7 主催

千葉市

<参考>「ウォーカブル」とは

道路・公園・民地などを一体的に活用し、ひと中心の豊かな生活を実現するために、都市全体として「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指すという取り組み。

千葉市はこの趣旨に賛同し、「ウォーカブル推進都市」として取り組みを進めています。

※「ウォーカブル推進都市」は、令和2年6月末時点で260都市